



現代の環境規制に適合した 復元ボンネットトラック

東京・港区に本社を置き食品輸送などを展開する川崎陸送株式会社は、今年2月21日に1924(大正13)年の創業から90周年を迎えたことを記念して、保冷車ボデーのボンネットトラックを復元した。

この保冷車のオリジナルは1962年、創業初期からの顧客である明治(当時明治製菓)のチョコレート輸送に向け、夏場でもチョコレートを溶かさずに運べる車両として導

入、当時のヒット商品・マーブルチョコレートなどの流通を支えた。車種は8トン積みみのいすゞ TD161(初代TD)であった。

復元では当時の写真(下)を元に設計図を起こすとともに、TD第2世代であるTD50のシャーシーを調達した上、4灯式ヘッドランプを持つボンネットを初代TDのサイクルフエンドースタイルに変更、さらにキャブのスタイルも初代TDに近づけるなど、

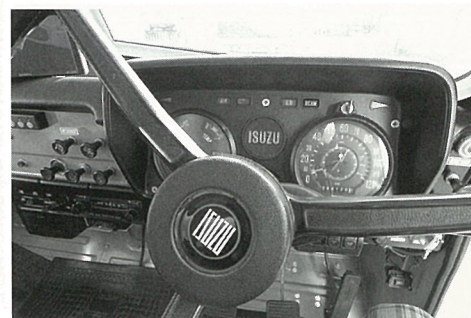
大がかりな改修を加えている。

だがそれ以上に特徴的なのは、本来の10ℓ級6気筒エンジンを、新短期規制適合の Elf に搭載される4.8ℓの4気筒エンジンに換装した上、営業車ナンバーを取得していることで、これによりNOx・PM法をクリア、地域を選ばずに営業運行ができる。なお復元はレプリカ車両の製作などを手がけるウイング(千葉市)が行った。



↑復元されたボンネットトラック。ベースとなったのは4灯式ヘッドランプを持つ1969年式のTD50(本誌No24参照)というが、ボンネットとキャブはその1世代前のスタイルに変更された。保冷車ボデーも新製された(本項の写真:川崎陸送)

←1962年に導入された明治チョコレート輸送用の保冷車。型式はいすゞ TD161。ボデーは断熱材を施し、ドライアイスで保冷した。復元に際してはこの写真から図面が起こされ、現在とは異なる明治のマークやロゴも復刻された。

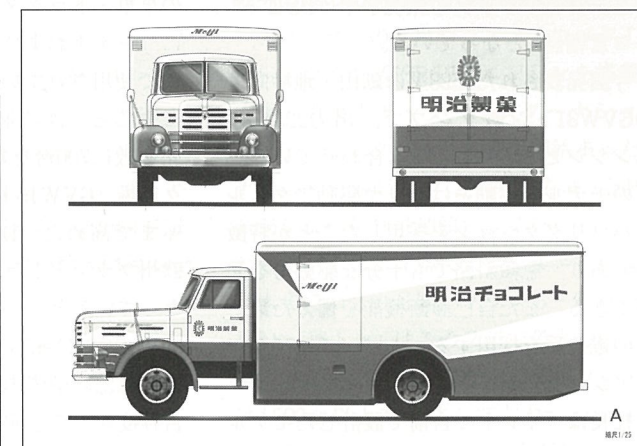


↑運転席周り。フロントウインドーはTD161の2枚式ガラスを再現している。衝撃吸収パッドで覆われたダッシュボードはTD系末期のものと思われる
→ボンネットには初代TDのシンボルともいべき「ISUZU 8 TONNER」のロゴが復元されている



↓主要諸元の比較

	オリジナル車	復元車
車種・型式	いすゞ TD161	いすゞ TD50
全長 (mm)	9,400	8,500
全幅 (mm)	2,470	2,460
ホイールベース (mm)	4,900	4,900
車両重量 (kg)	5,760	5,490
最大積載量 (kg)	8,000	7,800
エンジン型式	DH100	4HL1
エンジン仕様	予燃焼室式 6気筒 NA	直噴式 4気筒 NA
排気量 (cc)	10,179	4,777
最大出力 (PS/rpm)	190/2,300	130/3,000
最大トルク (kg-m/rpm)	67/1,200	34/1,500
変速機	5速MT	5速 デュアルモードMT



Pages 36 & 37: To commemorate their 90th anniversary, Kawasaki-Rikuso Transportation, a logistics company in Tokyo has reconstructed a refrigerated truck (Isuzu TD) which had been obtained in 1962 to transport chocolate. Based on a 1969 model, the styling of the cab has been converted to match the 1962 model, and the cargo loading platform has been newly built. Surprisingly, it is powered by an engine (albeit for light-duty Elf truck) that has passed the present emission regulations so that it can be operated anywhere in Japan. Below: Nissan's commercial EV, e-NV200, is scheduled to be introduced to the European market in May. Operating distance per charge is 170km, and is characterized as having the same payload capabilities as the base NV200.

e-NV200

日産自動車は3月、NV200(バネット)をベースにしたヨーロッパ向け商用EV「e-NV200」の正規生産車をジュネーブショーに出品した。

同車は今年5月にヨーロッパで発売され、以降グローバル展開が予定される。性能は一充電の航続距離170km(NEDCモード)、最高速度120km/hで、同クラスのバンの平均的なユーザーが1日に走行する距離100kmを大きく上回る。また家庭用電源での緩速充電はもとより、チャージモ急速充電器では30分で80%の充電が可能である。ヨーロッパ向けはバン、5人乗り貨客兼用車「コンビ」、乗用車の「エヴァリア」の3パリエーションで、バンの荷室スペースはベース車に準じて4.2mを確保、標準的なユーロパレットを2枚搭載できる。同クラスEVバンではトップクラスの積載性を誇る。

e-NV200はこれまでヨーロッパと日本の多くの企業・自治体で実証運行が重ねられてきたが、市販車にはこれらモニターユーザーからの意見がフィードバックされている。生産はバルセロナ工場で行われるが、日産では世界で最も売れているEV「リーフ」とともに、ゼロエミッションの先導役となることを期待しているという。上写真は左からエヴァリア、バン、コンビ。下写真はバンのリヤスタイル。